

あさくら

public relations of Asakura

令和6年
2024



contents

- 02 5月5日～11日は児童福祉週間
- 04 命を守る防災
- 10 令和6年度予算 主な事業
- 14 区会長を紹介します
- 38 ブレイクダンスで狙う日本一

4月17日時点で作成しています。
掲載している内容は変更・中止もあり
えますので、必ずご確認ください。

5月5日～11日は児童福祉週間

『はじめの100か月』は、 生涯の幸せを育てる。



◎ 甘木公園に新設された“ちびっこひろば”で遊ぶ親子



すべての子どもに「家庭の暮らし」を 里親制度を知っていますか？

里親とは、さまざまな事情で家庭で暮らせなくなった子どもを自分の家庭に迎え入れ養育する制度です。近年、社会的養護の仕組みの一つとしても注目されている里親について、福岡県里親支援機関 OHANA の里親リクルーティング担当者、里親として子どもを受け入れている A さんにそれぞれ話を聞きました。



【Aさんプロフィール】

夫と2人暮らしで60代の夫婦。
これまで、未就学児や中学生など
多くの子どもたちを受け入れる。



【OHANA プロフィール】

2018年7月にスタート。2020年
8月に福岡県から委託を受けフォ
スタリング機関(※)として活動。



※里親の広報やリクルーティング、里親支援などを行う組織

—里親になったきっかけは？

いつかは子どものいる暮らしがしてみたいと思っていました。40代半ばのころ、子育てサポートのボランティアから子育てに関わる相談員の職に就きました。児童相談所との関りもあり、里親が身近になったため研修を受け里親登録をしました。

—どんな時にやりがいを感じますか？

夫婦2人だけの生活に比べて、子どもとの暮らしはとても刺激的です。また、保育所や学校で若いお母さんたちと「ママ友」になれることも楽しいです。里親を始めたころは「○○ちゃんのママ」でしたが、今は「△△ちゃんのばーば」です。

—大変だと思うことはありますか？

里親を必要としている子どもたちはさまざまな課題を抱えています。対応が難しいですが、先輩里親さんに相談したり、職場や子育てサポートの仲間助けられたりしています。

—里親に関心のある人へメッセージを

暴れる子を落ち着くまで抱きしめたり、知らない家に連れてこられて夜遅くまで泣き続ける子などがいて、体力勝負です。「里親をしたい」と思ったら、年を重ねないうちに早く始めることをお勧めします。血のつながりはありませんが、一緒に暮らすと、とてもかわいく愛おしく思えます。

—どんな活動をしていますか？

主な活動は、里親制度の広報周知、カフェ形式の相談会の開催、里親の伴走支援などを行っています。昨年度の相談会参加者は、全体で約60人ほどでした。

—どんな里親の制度がありますか？

養育里親、専門里親、養子縁組里親、親族里親などがあります。これまでは、家の事情により家庭で養育できなくなった子どもを短期間預かる養育里親のリクルーティングに力を入れてきました。

—里親リクルーティングの難しいところは？

里親制度の認知があまり浸透していないところや、相談会に参加した人でも登録まで至らないなど、家庭内での合意形成の難しさが課題です。制度を知っていただくことはもちろん大切なことですが、子どもが里親家庭に預けられる背景にも、目を向けてもらいたいと思っています。

—今後どんな活動をしていきたいですか？

これまでの活動の成果を踏まえ、今後は、長期間預かっていたり里親の育成支援や、地域や学校と里親をつなぐ役割など、きめ細やかな部分にも、これまで以上に力を入れていきたいと思っています。そのためには、地域で里親制度があたりまえの存在となり、地域の見守りの輪として自然と受入れられるよう、地道な活動の積み重ねが必要だと思っています。

『はじめての100か月』は、 生涯の幸せを育てる。



私たちおとなもみんな昔は、こどもでした。人生を、幸せな状態(ウェルビーイング)で過ごすために特に大切な時期、それが「はじめての100か月」。妊娠期から小学校1年生までの100か月のことです。

人生の一番はじめての大切な時期。すべてのこどもが等しく健やかに育つことができるよう「はじめての100か月育ちビジョン」として大切にしたい考え方を5つにまとめました。



▲ビジョンの詳細はこども家庭庁HPへ

①こどもの権利と尊厳を守る

「安心したい」「満たされたい」など、こども一人一人の想いや願いを大切にしていきます。



②「安心と挑戦の循環」を通して

こどものウェルビーイングを高める

こどもは不安な時などに大人が寄り添う「アタッチメント(愛着)」による「安心」を土台として、遊びと「挑戦」を繰り返しながら成長していきます。



③「こどもの誕生前」から

切れ目なく育ちを支える

こどもの成長に応じた環境の変化が育ちの「切れ目」を生まないように、すべての関係者で連携して育ちを支えることが重要です。



④保護者・養育者のウェルビーイングと

成長の支援・応援をする

こどもに最も近い存在の保護者・養育者がこどもとともに育つことができるように、さまざまな人や機会を支えていきます。



⑤こどもの育ちを支える

環境や社会の厚みを増す

こどもや子育てに直接関わりがある人も、ない人も、すべての人がこどもの育ちにとって大切な役割を担っています。



この5つのビジョンを社会全体に広め、すべての人とともに「はじめての100か月育ちビジョン」を実現していくことが求められています。はじめの100か月は生涯の幸せを育てます。

こどもたちがいろいろな人に温かく見守られ、さまざまなモノに出会いながら育っていく、「こどもまんなか社会」。そんな社会で育ったこどもたちも、やがて「こどもまんなか社会」をつくるおとなになっていきます。

出典：政府広報オンライン—こども家庭庁—

こどもの明日を考える講演会

思春期のこどもと寄り添うおとな～子育てからの親育ち～

こどもにとって親は、最も身近で誰よりも自分の気持ちを理解してほしい存在です。こどもの社会的自立を応援するおとなとしての関わり方を考えます。

日時 6月5日(水) 19時～21時(開場18時30分)

場所 ピーポット甘木 中ホール **講師** 奥村賢一さん

■託児…1歳～未就学児(5月27日までに要予約)

※参加費無料・手話通訳あり

☎ 申 市文化・生涯学習課 (☎ 22-2348)

奥村賢一さん
(福岡県立大学 人間社会学部准教授)



▲メール申込



【プロフィール】現在、大学でソーシャルワーカー養成に取り組む。福岡県教育委員会スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー、福岡市いじめ防止対策推進委員会副委員長ほか多数の社会活動に参加。

母子保健と児童福祉の両面から一体的に支援

こども家庭センターあさくらっこ誕生！

市ではこれまでも、母子保健分野(市健康課)、児童福祉分野(市子ども未来課)が連携して支援を行ってきました。その中で、こどもやその家庭の支援ニーズの把握や情報共有がしにくいなどの課題がありました。

センターでは新たに統括支援員を設置して、母子保健職員と児童福祉職員の連携を強化します。保護者やこどものニーズに沿った多角的なサポートプランを作成するなど、より相談支援を充実させ、支援の切れ目をなくしていきます。また、子育ての問題を家庭内で終わらせず、地域全体で解決していくため、地域とも連携し対応していきます。

☎ こども家庭センターあさくらっこ (☎ 28-7340)



詳細は市HPへ

母子保健分野

- ・妊娠届出相談
- ・乳幼児健診
- ・家庭訪問

児童福祉分野

- ・虐待防止
- ・養育課題への対応
- ・子育て家庭への支援



▲市健康課・市子ども未来課内に設置。いつでも気軽にご相談ください。

「避難」とは「自分の命を守るために安全を確保すること」

「避難所へ行くこと」だけが「避難」ではありません。自宅周辺に危険なところがある場合、早めに安全な場所へ避難する「水平避難」が大切です。しかし、急な大雨や河川の増水などで避難所へ行くことがかえって危険な場合や夜間で見通しが悪い場合は、自宅や近所の2階以上の建物、土砂災害が発生するような崖から離れた部屋など、より安全な「垂直避難」をとるようにしてください。



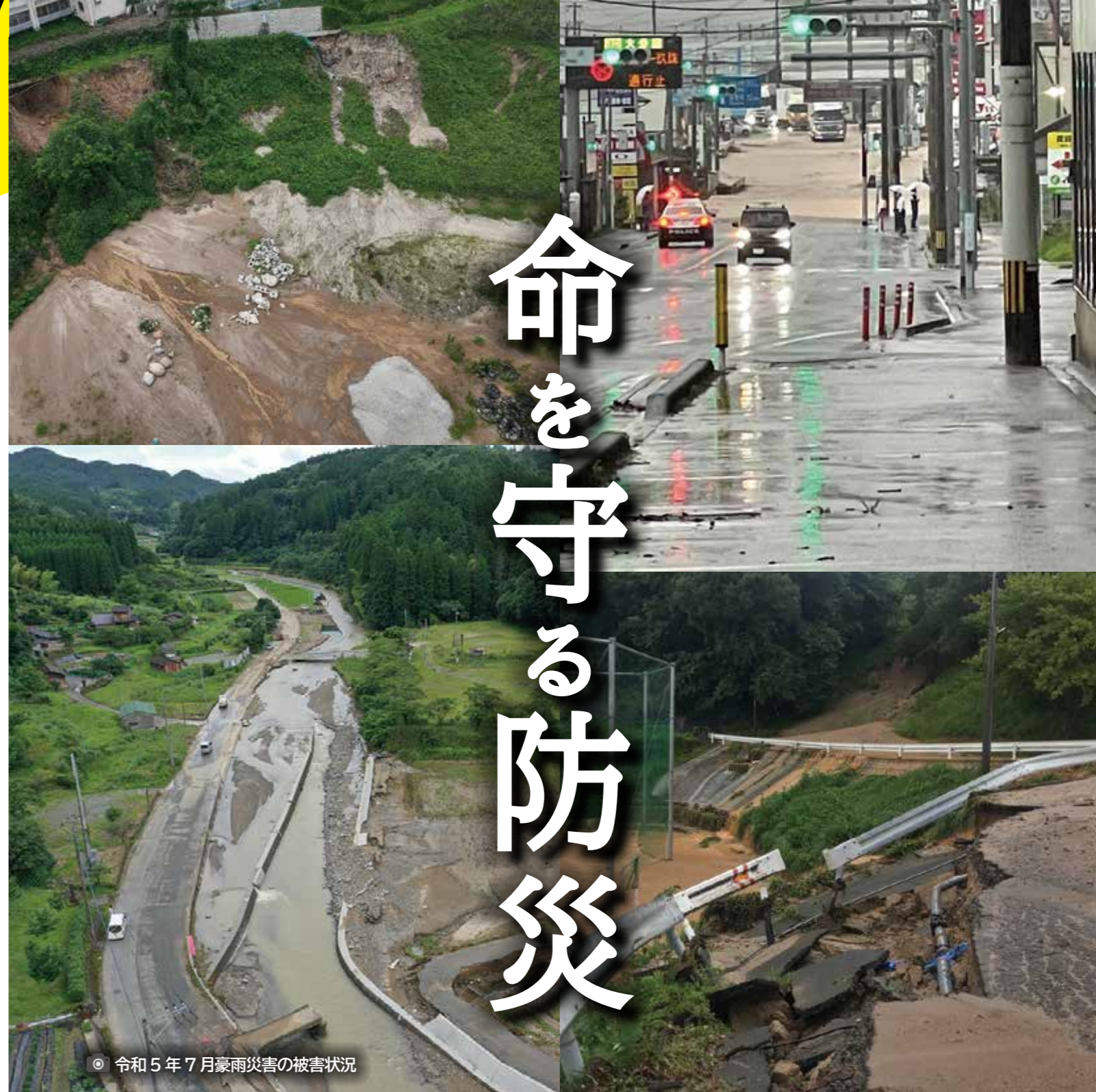
自宅周辺が安全な場合は、水・食料など生活に必要なものを準備し、2階以上の場所で身の安全を確保する「在宅避難」、自宅が危険な場合は、安全な親戚知人宅に避難する「縁故避難」を考え、少しでも身の危険を感じるような場合は、早めの避難を行ってください。

【洪水、内水、土砂災害に関する避難基準】

警戒レベル	避難情報等	とるべき避難行動	判断の参考となる情報	
			防災気象情報	
			洪水、内水に関する情報	土砂災害に関する情報
警戒レベル⑥	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！	・氾濫発生情報 ・大雨特別警報(浸水害) ・危険度分布(災害切迫)	・大雨特別警報(土砂災害) ・危険度分布(災害切迫)
警戒レベル④	避難指示	危険な場所から 全員待避	・氾濫危険情報 ・内水氾濫危険情報 ・危険度分布(危険)	・土砂災害警戒情報 ・危険度分布(危険)
警戒レベル③	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難	・氾濫警戒情報 ・洪水警報 ・危険度分布(警戒)	・大雨警報(土砂災害) ・危険度分布(警戒)
警戒レベル②	洪水注意報 大雨注意報等	避難に備え自らの 避難行動を確認	・氾濫注意情報 ・危険度分布(注意)	・危険度分布(注意)
警戒レベル①	早期注意情報	災害への心構えを 高める	警報級の可能性	

Check |

避難基準を再確認しましょう



命を守る防災

令和5年7月豪雨災害の被害状況

【ダムに関する避難基準(佐田川・小石原川流域住民を想定)】

【警戒レベル】 避難情報	判断の参考となる情報
【警戒レベル⑥】 緊急安全確保	緊急放流(異常洪水時防災操作)開始
【警戒レベル④】 避難指示	緊急放流(異常洪水時防災操作) 3時間前・1時間前
【警戒レベル③】 高齢者等避難	緊急放流(異常洪水時防災操作) 予測情報(予測された時点)

緊急放流の3時間前
30分前に緊急効果音と
サイレンが鳴ります。右記
からデモを試聴できます。



▲緊急効果音



▲サイレン音



※「緊急放流(異常洪水時防災操作)」とは、大雨などによりダムの計画規模を超える流入量が予想され、これ以上ダムに水を貯められなくなる場合に、流入した水量をそのまま下流に通過させる操作のことです。

問 市防災交通課(☎28-7554)

平時からハザードマップを確認し自宅とその周辺の災害リスクを認識するなど、どのような災害の危険が及ぶのかを考え、その被害を最小限にするために必要な対策を行うことが重要です。多くの人が、自助・共助により命を守ることができれば、警察・消防・自衛隊などによる救助活動の公助は、効率的に行われ、他の被災者の命を救うことにつながります。

令和6年1月1日には能登半島地震が発生するなど災害はいつ起こるかわかりません。災害による被害をできるだけ少なくするためには一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だといわれています。中でも基本となるのは「自助」。自らの命は自らが守る意識を持ち、一人ひとりが自分の身を守ることに備えることです。災害に備え、自分の家の安全対策を行い、外出時に地震などに遭遇したときの、身の守り方を知ることが必要です。

朝倉市に大きな爪痕を残した平成29年7月九州北部豪雨。そして令和5年7月、再び豪雨が朝倉を襲いました。河川や農地などでは大きな被害が発生した一方で、人的被害が出なかったのは、赤谷川など改良復旧工事や砂防・治山施設が大きな効果を発揮したこと、そして皆さんの普段の備え、早めの行動の結果といえます。

情報収集ツール

ひとつでも多くの情報収集手段を確保

災害時には、今自分の身の周りでどういう危険が迫り、どうしなければならぬかをいち早く知る必要があります。そのために、**市防災行政無線**やメール（緊急速報メール、防災メールまもるくん）、**市公式 SNS**、**防災アプリ**、**地域放送**、**テレビ**、**ラジオ**、**インターネット**など、ひとつでも多くの手段を準備しておきましょう。

市公式 LINE

避難情報や避難所の開設情報などをプッシュ通知でお知らせします。



友だち登録はこちらから

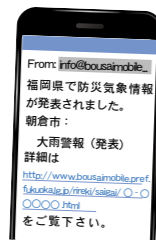
防災メールまもるくん

■受信できる情報

- ①地震、台風、大雨などの気象情報
- ②避難情報
- ③地域の安全に関する情報など

■登録方法

① mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp に空メールを送信する。



▲簡単登録

②返信メールが届くので、その内容に従って登録を行う。

防災アプリまもるくん

現在地や登録した市町村の気象警報や避難情報をわかりやすくお知らせ。

非常時にはどのような行動をすれば良いかをイラストで表示。▲詳しい内容や登録方法は福岡県 HP へ



リモコンdボタン

テレビを視聴中にリモコンのdボタンを押すと、気象情報や雨量・河川の水位情報、避難情報などを確認できます。



防災行政無線

避難情報をチャイム音やサイレンでお知らせします(放送イメージ参照)。

【警戒レベル】 避難情報	放送イメージ
【警戒レベル⑤】 緊急安全確保	「サイレン 20 秒」→無音 5 秒→「サイレン 20 秒」→無音 5 秒→「サイレン 20 秒」→「音声放送」
【警戒レベル④】 避難指示	「サイレン 20 秒」→無音 5 秒→「サイレン 20 秒」→「音声放送」
【警戒レベル③】 高齢者等避難	「チャイム音」→「音声放送」→「チャイム音」

防災行政無線テレフォンサービス

- 「放送が聞き取れなかった」
- 「もう一度内容を確認したい」

そんなときに便利です。

☎050-5536-2944

※通話料がかかります。



防災行政無線の戸別受信機

防災行政無線の放送を屋内で聞くことができる「戸別受信機」を希望者にお貸しします。

■対象…市内に住所を有する世帯主・事業者

■分担金…1 台につき 5000 円

※免除対象あり



▲詳しくは市 HP へ



Check 3

災害発生直前直後の情報はどう得る？

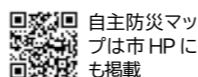
Check 2

自宅の周りで危険な場所は？ 避難先は？

自主防災マップ（ハザードマップ）で確認を

自主防災マップは、水害、土砂災害、地域で出された意見などを地区（地域）ごとにまとめた地図です。自宅や通学路（通勤路）、勤務先などの周りに危険な場所がないか確認しておきましょう。自主防災マップは、市防災交通課（本庁別館）にあります。

また、パソコンやスマホなどで確認できる **Web 版ハザードマップ・避難支援マップ**でも、危険箇所や避難所に関する情報を公開。各避難所開設中は開設時間や混雑状況などが確認できます。



自主防災マップは市 HP にも掲載



Web 版ハザードマップ・避難支援マップ



避難所の開設

避難所は、ピーポート甘木、朝倉地域生涯学習センター、らくゆう館の 3 施設を基本とし、予測される災害や避難者数、発令する避難情報などを考慮して、開設します。

また、開設した避難所への避難者数や今後の気象状況の予測に基づき、追加開設します。



▲市指定避難所一覧

地震への備え、できていますか？

最低 3 日以上の備蓄を

地震など災害はいつ、どこで発生するかわかりません。いざという時に慌てずに自分や大切な人を守るため、事前の備えが重要です。

災害発生直後は、支援物資が届くまでに時間がかかる可能性があります。少なくとも 3 日分、できれば 7 日分の非常持出品を準備しましょう。



非常持出品の例

□水(1 人 1 日 3 リットル目安) □食料(レトルト食品、カップ麺、乾パン など)

□衛生用品(トイレ袋・凝固剤・トイレトペーパー・ティッシュ・洗面用具・生理用品・マスク など)

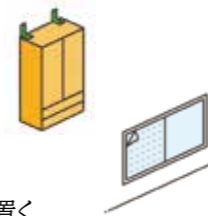
□日用品・防災用品(ヘルメット・防災頭巾・軍手・衣類・タオル・携帯ラジオ・懐中電灯・ライター・ろうそく・カセットコンロ・カセットボンベ・電池・モバイルバッテリー など)

□救急用品(包帯・ガーゼ・ばんそうこう・常備薬 など) □貴重品(通帳・証明書類・現金 など)

自宅内の安全対策を確認

家具類の転倒や落下物はけがや命を落とす原因となるほか、避難の妨げになることもあります。自宅内の安全対策を確認しておきましょう。

- 家具を固定し転倒を防止
- 家具の上に物を置かない
- 出入口や通路に物を置かない
- 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る
- 非常持出品を分かりやすい場所に置く



住宅の耐震対策

旧耐震基準で建築された家屋(昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工)は、地震の揺れに耐えられず倒壊してしまう可能性があります。住宅の耐震診断を行い、耐震性能が低い場合は、揺れに備え補強などしておくことも大切です。

市では、震災に強いまちづくりを目的として、住宅耐震改修工事のほか、耐震シェルター・防災ベッドの設置に補助金を交付しています。

☎市都市整備課(☎ 22-1115)



▲詳しくは市 HP へ

地域福祉計画と地域福祉活動計画とは？

朝倉市がつくる「地域福祉計画」と社会福祉協議会がつくる「地域福祉活動計画」は、どちらも地域福祉の推進のためのものであり、相互に補完しあう関係にあります。市と社会福祉協議会が地域福祉の理念や方向性を共有し、相互に連携しながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

市ではこれまで、「ともに認め合い 支え合う めくもり

あるまちづくり」を基本理念に、地域福祉を推進してきました。本計画では、これまでの基本理念や市を取り巻く現状と課題、取組の成果などを踏まえ、新たに「ともに認め合い 支え合い みんなで進める共生のまちづくり」と基本理念を定めました。

市では次の3つの基本目標を掲げ、ともに認め合い、支え合う地域共生社会の実現を目指していきます。

▶基本目標1 住民が中心に取り組む地域づくり

市民の地域や福祉に対する意識と人権の啓発を図り、多くの市民が地域活動の担い手として参加することができるよう、地域福祉に参加しやすい体制を整えます。



1. 福祉意識の醸成

- ①福祉教育の推進
- ②支え合いの心を育む住民協働

2. 地域づくり、交流の促進

- ①地域交流の促進
- ②ボランティア活動の推進

3. 地域福祉活動への支援

- ①関係団体への支援
- ②担い手育成
- ③多様な担い手の地域福祉活動への参加

▶基本目標2 包括的な相談・支援体制づくり

分野横断的な課題や地域では解決できない課題を支援に結びつけるため、多様な機関が密接に連携した支援体制を構築し、課題解決のための適切な支援につなげます。



1. 包括的な相談支援体制の充実

- ①包括的な支援体制の構築
- ②見守り体制の強化
- ③自立支援の推進

2. 地域を支えるネットワークづくり

- ①地域ネットワークの構築・強化

3. 情報発信・情報提供の充実

- ①福祉に関する情報発信の充実

▶基本目標3 安全・安心に地域で生活できる環境づくり

地域で安全・安心に暮らせるよう、防災・防犯対策に取り組むとともに、さまざまな困難を抱える人への支援やサービスを充実します。また、権利擁護や再犯防止の取り組みも進めていきます。



1. 安全・安心な地域づくり

- ①防災活動の推進
- ②地域ぐるみの防犯活動

2. 福祉サービスの充実

- ①福祉サービスの質的向上

3. 権利擁護体制の充実

- ①人権擁護と虐待防止
- ②成年後見制度の利用促進(成年後見制度利用促進基本計画)

4. 再犯防止の推進

- ①再犯防止の環境づくり(再犯防止推進計画)



ともに認め合い 支え合い
みんなで進める共生のまちづくり

令和6年度～令和10年度

第2次朝倉市地域福祉計画・ 第4次朝倉市地域福祉活動計画を策定しました



▲計画の詳細は市HPに掲載

3つの視点で進める地域福祉

近年、少子高齢化や人口減少、価値観の変化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化し、一人ひとりが抱える課題は複雑化・多様化しています。

地域福祉とは、そのような福祉課題に対応するために、さまざまな理由で手助けや支援が必要となっても、いろいろな人・組織が協力し、互いに支え合い、助け

合いながら、社会の一員として住み慣れたところで暮らすことができるようにすることです。

地域福祉を進めるためには、「自助」「共助」「公助」の視点を持って、市民・地域・福祉関係団体・社会福祉協議会・行政などが力を合わせて取り組むことが必要です。

自助

自分や家族で解決する

例えば……
・健康づくり
・福祉に関する学習



共助

隣近所や地域での助け合いや支え合い

例えば……
・ちょっとした手助けや見守り
・地域での交流



公助

行政や社協が行う公的な支援

例えば……
・相談支援や情報提供
・公的サービスの提供



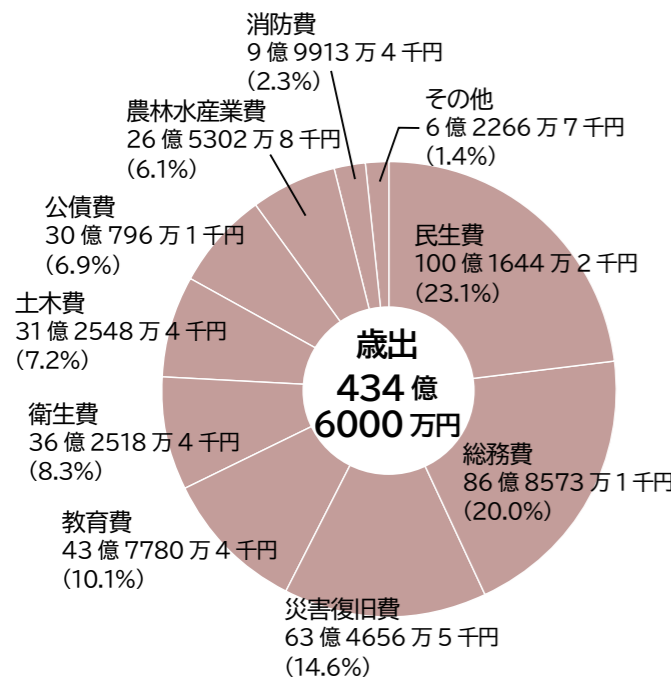
令和6年度

一般会計 予算 434億6000万円

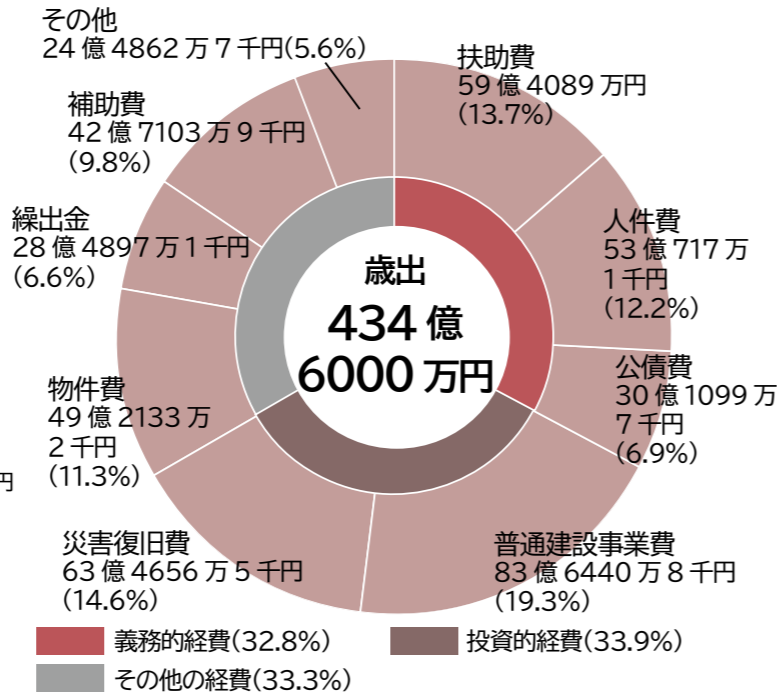
「復興計画」発展期として、新たな魅力と活力ある地域へ

- 用語説明**
- 歳入**
 - 【市税】市民税や固定資産税、軽自動車税など
 - 【地方交付税】国税として徴収した所得税・法人税・酒税などの一定割合が、市の財政状況に応じて配分される
 - 【国庫支出金・県支出金】国の委託や市の事業に対して、国や県から交付される補助金・負担金・委託金など
 - 【市債】公共事業の資金調達のための国や金融機関などからの借入金
 - 歳出**
 - 【扶助費】社会保障制度の一環として、高齢者、児童、心身障がい者などに支援するための経費
 - 【人件費】議員報酬、職員給与など
 - 【公債費】借り入れた市債の元利償還金
 - 【災害復旧費】災害で被災した施設などを復旧するための経費
 - 【民生費】安定した社会生活を保障するための経費。児童・老人福祉・生活保護・その他社会福祉費など

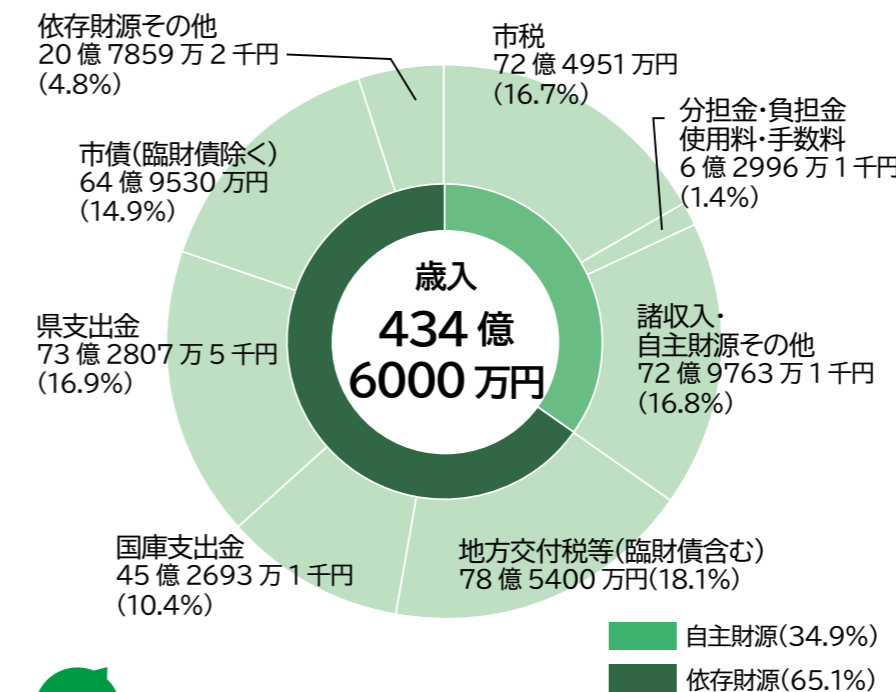
一般会計歳出【目的別グラフ】



一般会計歳出【性質別グラフ】



一般会計歳入



令和6年度は、関係人口拡大を目的とした「地方創生」事業である移住定住交流センター「コネアサクラ」、あまぎ水の文化村キャンプ場のオープン関連経費を計上し、「復興計画」発展期として、新たな魅力と活力ある地域へ生まれ変わり発展していくための予算を編成しました。

一般会計と特別会計を合わせた予算総額は、581億2057万4千円。前年度と比べて、33億3272万3千円(6.1%)の増となりました。一般会計では、災害関連事業が令和5年度の豪雨災害に伴い約24億円の増額となり、その他はし尿処理施設・教育施設の改修などの影響により約9億円増額となったため、全体としては前年度と比べ33億3000万円の増額となりました。

Pick up 自主財源・市税は減少

市が自ら確保できる財源「自主財源」は、151億7710万2千円(前年度比2億4767万8千円、1.6%減)で歳入全体の34.9%です。市税は、約1.4億円増を見込んでいましたが、主に個人住民税の定額減税により前年度比5385万6千円、0.7%の減となっています。

依存財源は増加

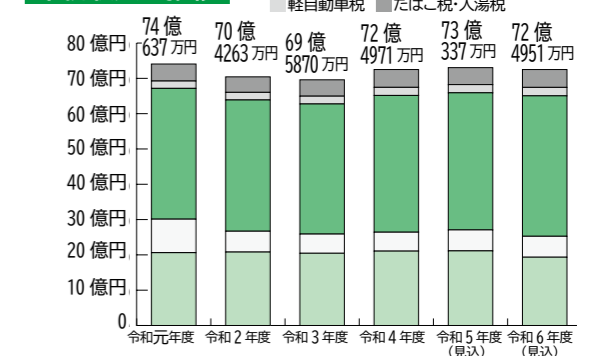
地方交付税は、78億円(前年度比2億円、2.6%増)となり、地方交付税の不足を補てんする臨時財政対策債は、5400万円(前年度比9600万円、64.0%減)となりました。臨時財政対策債を除く市債は、64億9530万円(前年度比6億4610万円、11.0%増)です。

また、国県支出金は、令和5年度の豪雨災害に伴い118億5500万6千円(前年度比27億7145万4千円、30.5%増)です。

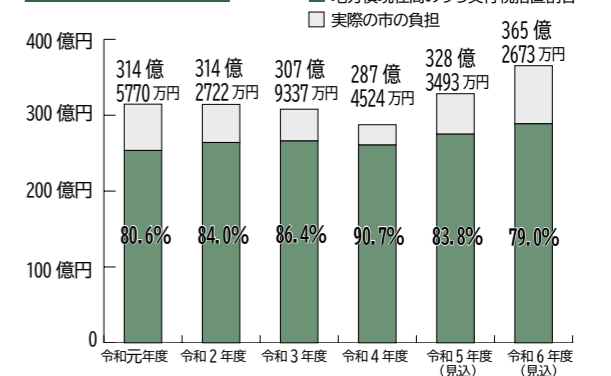
市債残高は増加

令和6年度末の市債残高見込は約365億円、返済額より借入額が大きいため、市債残高は増加しています。後年度に地方交付税により措置されるものが多いため、実際の市の負担はその措置を除いた金額となります。

市税収入の推移



市債残高の推移



特別会計

会計名	予算等金額 (千円)	前年比 (%)
住宅新築資金等貸付特別会計	5,734	-13.0
国民健康保険事業勘定	7,020,266	-1.4
国民健康保険直営診療特別会計	440,001	+43.1
後期高齢者医療特別会計	1,151,290	+9.1
介護保険特別会計	6,043,283	-2.0

Pick up 義務的経費は増加

義務的経費とは、市の運営に必要な不可欠な費用のことで、家計では食費や医療費などの生活費にあたるものです。

議員報酬や職員の給料などの「人件費」、社会保障経費の「扶助費」、市の借金の返済金である「公債費」の3つの義務的経費は142億5905万8千円(前年度比4億6858万5千円、3.4%増)となり、一般会計歳出の32.8%を占めています。

「人件費」は、会計年度任用職員の給与見直し等により増加しています。また、「扶助費」は、児童手当給付事業の制度拡充等により増加していますが、「公債費」は、前年度に繰上償還をしたことにより減少しています。



次ページで
令和6年度の主な事業を紹介

令和6年度 主な事業

第3次朝倉市総合計画「6つの基本目標」の実現に向けて取り組みます。

新 …新規事業 **拡** …拡充事業

▲ …地方創生事業
朝倉市ならではの豊かさや地域資源を活用した取組で、人口減少に歯止めをかけ、誰もが住みたい住み続けたい朝倉市を創るための予算。

1 災害に強く、快適に暮らせる安全・安心なまちづくり

- 新** 消防団管理システム導入事業 2,982千円
- 拡** コミュニティバス事業 59,090千円
- 新** 都市計画用途地域等変更事業 5,000千円
- 新** 一木児童公園改修事業 57,000千円
- 新** ピーポート甘木駐車場内調整池整備事業 24,000千円
- 新** 河川監視カメラ設置事業 2,037千円



▶デジタルツールで消防団活動の負担を軽減

2 子どもから高齢者まで、健やかに笑顔があふれるまちづくり

- 拡** 産後ケア事業 1,740千円
- 新** ▲子育て支援アプリ運営事業 15,600千円
- 新** ▲看護人材確保事業 10,900千円
- 新** ▲こども家庭センター運営事業 25,311千円
- 新** こどもの居場所づくり事業 1,680千円
- 新** 保育環境改善事業(使用済オムツ処分) 6,946千円
- 新** 医療的ケア児保育支援事業 5,590千円
- 新** ▲保育人材確保事業 6,200千円

3 次世代につなぐ環境にやさしいまちづくり

- 新** 電気自動車等の計画的購入事業 14,400千円
- ゼロカーボン推進補助事業 15,500千円
- 公共施設照明LED化事業 90,000千円
- 高校生の提言活用事業「減らせ流木DIY」 154千円



▶高校生のアイデアから生まれた「減らせ流木DIY」

4 活力ある産業と魅力的な観光資源があるまちづくり

- 新** ▲グリーンツーリズム事業 持続化支援事業 1,840千円
- 新** 将来の農業を考える地域計画策定事業 1,000千円
- ▲秋月藩成立400年記念事業 23,257千円
- 新** サイクルスタンプラリー事業 975千円
- 新** ▲あさくら誘客プロモーション事業 2,600千円
- 新** あさくら旅行支援事業 15,200千円
- 新** ▲あさくら水の魅力発見事業 300千円
- ▲あまぎ水の文化村キャンプ場整備事業 31,563千円



▶サイクルツーリズムの推進や誘客プロモーションを行い、さらなる観光資源の活性化を図る

5 生きる力を育み、生涯成長できるまちづくり

- 拡** スクールソーシャルワーカー配置事業 6,880千円
- 学校給食費補助事業 31,119千円
- 立石小学校校舎増築・改修事業 877,448千円
- 学校トイレ等衛生環境改修事業 208,948千円
- 新** デジタル教科書導入事業 3,376千円
- 新** 統合型校務支援システム導入事業 18,512千円
- 新** ▲e-Sports地域交流事業 3,900千円
- 新** 全国藩校サミット朝倉大会事業 2,600千円
- 新** あさくら検定事業 500千円



6 誰もが尊重され支えあい、市民とともに創る持続可能なまちづくり

- 新** 朝倉かるた祭り事業 300千円
- 新** 空き家バンク成約お祝い金事業 1,500千円
- ▲移住定住交流センター運営事業 13,266千円
- 新** ▲ふるさと応援事業 2,200千円
- 新** ▲魅力づくり活動支援事業(CANOW PROJECT) 2,360千円
- 新** ▲魅力発信促進事業(アサクラグエイター×アサクラアンバサダー) 1,090千円
- 拡** 証明書コンビニ交付サービス事業 5,995千円
- 庁舎建設事業 1,428,349千円



▶4月にオープンした移住定住交流センターの稼働を支援

復旧復興1 すまいと暮らしの再建

- すまいの再建促進宅地分譲事業 15,000千円
- 道目木1・2号線付替事業 55,000千円
- 流末水路整備事業 110,000千円
- 宅地嵩上げ等浸水対策促進事業 10,000千円
- 災害復旧に伴う水道管布設替事業 64,900千円
- 災害伝承広場整備事業 20,000千円
- 松末小学校跡地活用(コミュニティセンター整備)事業 339,866千円



▲地域住民の新たな交流の場としてコミュニティセンターを整備する旧松末小学校

復旧復興2 安全な地域づくり

- 農地湛水対策事業負担金 5,000千円
- 道路橋りょう災害復旧事業 968,000千円
- 河川災害復旧事業 206,000千円
- 災害関連地域防炎がけ崩れ対策事業 177,600千円
- 杷木地域体育施設災害復旧事業 114,300千円

復旧復興3 産業・経済振興

- 農地災害復旧事業 834,983千円
- 農業用施設災害復旧事業 2,621,231千円
- 林道災害復旧事業 382,300千円
- 農地改良復旧事業 1,322,959千円
- 被災者支援事業 154,700千円
- 九州北部豪雨被災産地復興加速化支援事業 133,300千円
- その他公共施設災害復旧事業 24,000千円

令和6年度 朝倉市の区会長を紹介します

市と市民をつなぐ地区の代表として、市の依頼事項の伝達や広報紙の配達など地区のお世話をさせていただき、新しい区会長を紹介します。1年間よろしくお願いいたします。(敬称略)

☎ 市総務財政課文書法制係(☎ 28-7597)

上秋月地区	
田代手島 誠	
山見・仲仁鳥 稲葉 妙浩	
仁鳥・日向石 倉地 弘之	
長谷・川端・首淵 馬場 和訓	
出町・浦泉・野添 星野 茂夫	
中村・光月・片峯 満生 光臣	
小原・弓削 久保田 俊彦	
松丸・原田 小谷川 恵	
下戸河内 山崎 勝翁	
秋月地区	
上野鳥 指田 充	
下野鳥 井上 裕司	
浦泉 内田 範子	
今小路 小島 泰弘	
魚町 平田 健一	
秋月中町 林 光信	
新富 山田 達馬	
石原 勝野 健	
安川地区	
長谷山 井上 正吉	
女男石 櫻場 隆	
千手 宮本 保孝	
甘水 堀尾 俊浩	
檜原 高崎 新也	
隈江 内田 與六	
下淵1 武井 清和	
下淵2 西川 勇一	
持丸 藤本 具彦	
馬田地区	
牛木 矢野 順一	
千代丸 柴田 高人	
東田 大場 納	
馬田 大場 和徳	
上浦 藤井 新一	
下浦 井上 恵	
草水 床嶋 勝徳	
中原 早野 秀樹	

甘木地区	
水町 鶴田 辰彦	
旭町 上野 春樹	
菩提寺 川上 喜代太	
琴平町 梅田 功	
七日町 上野 隆	
八日町 白水 久喜	
八幡町 金津 栄自	
馬場町 江藤 八州徳	
三福町 後藤 隆典	
本町 徳田 厚彦	
四重町 平田 一博	
四日町 山本 一彦	
上新町 久保 雅裕	
下新町 村田 正英	
恵比須町 藤村 敏郎	
県営恵比須団地 長峰 克郎	
山領町 藤田 勇助	
高原町 塚本 剛敏	
庄屋町 矢野 清博	
上二日町 北川 智英	
下二日町 廣渡 利秀	
川端町 梅木 齊	
川原町 佐藤 孔晴	
天神町 玉城 正徳	
横内町 杉山 孝一	
泉町 荒牧 清	
新河町 尾畑 吉彦	
神田町 渡邊 利博	
双葉町 因 一成	
大内町 荒瀬 新一	
後藤町 川原 尚子	
立石地区	
相窪 豊嶋 徹	
柿原 清武 春夫	
堤 渡邊 義明	
来春 上野 誠一	
一木 平井 隆治	
頓田 田中 輝幸	
古賀 青井 義光	
柿添 嶋田 和文	
一木団地 吉澤 恵子	

福田地区	
鳩胸 金子 義郎	
小田本村 柴野 茂則	
春 原田 修司	
小田正信 友岡 重久	
小隈 西村 順一	
平塚 原田 隆夫	
中寒水 山見 一三	
倉吉 原野 友孝	
白鳥 高崎 健二	
蟠城地区	
林田・鎌崎 牟田 眞佐雄	
金丸 平田 正義	
徳淵 三笠 俊見	
八重津 立野 浩利	
下長田 深見 玉樹	
町 重松 健太	
藤島 羽野 博之	
中小路 齊藤 茂雄	
上畑・楓 豊原 秀子	
中 空閑 公一	
片延 秋吉 健一	
鶴木 林 英樹	
四郎丸 大楠 祐二	
古江 東園 敬二	
坂井 椿 浩則	
三奈木地区	
上三奈木 佐藤 丈一	
川原 林 喜照	
下三奈木 荒川 昌宏	
角枝団地 柴野 信夫	
下万願寺 青柳 清次	
長畑 深見 政弘	
十文字・櫛畑 中村 悦郎	
上櫛畑 木林 和男	
久保鳥・六本松 内田 久志	
城 神吉 邦彦	
荷原 堀田 尊	
矢野竹 橋本 浩一	
屋形原 深町 勉	
板屋 窪田 和俊	

金川地区	
上屋永 今福 善輝	
西屋永 中山 善典	
下屋永 牟田 近雄	
桑原 中嶋 英喜	
田島 水城 正則	
中島田 手島 満	
牛鶴 宮田 善彦	
高木地区	
宮園 雑野 幸二	
馬場 諸岡 恒夫	
北小路 淵上 靖正	
疣目口 岩下 昭彦	
元の目 秋吉 次夫	
佐田田代 大山 勉	
木和田 徳永 信敏	
安谷 手嶋 源五	
地 下 手嶋 隆之	
藪 手嶋 貞文	
仏谷 安陪 弘幸	
西原 鬼塚 博志	
美奈宜の杜地区	
美奈宜の杜1 宇都 信泰	
美奈宜の杜2 山口 美佐子	
美奈宜の杜3 小森 正道	
宮野地区	
山後 半田 卓男	
上須川 星野 照明	
尾西 岩下 英俊	
来光寺 藤瀬 弘安	
長安寺 矢野 行宣	
下須川 仲山 欽也	
八坂 浦塚 泰憲	
立野 藤原 浩俊	
中宮野 本園 進	
落合 高山 隆	
下町 上野 榮作	
上比1 江藤 賢三	
上比2 江藤 憲伸	
下比 梅尾 一典	
新道 村上 博	
烏集院 半田 欽也	

朝倉地区	
恵蘇宿 櫻木 時雄	
山田 櫻木 実	
菱野 中山 茂	
三島 小川 忠信	
久重 手島 勝一	
下古毛1 熊谷 善行	
下古毛2 池田 和博	
下古毛3 和地 幸成	
大福地区	
西入地 須山 義郎	
東入地 柳原 一博	
入地中町 井上 稔彦	
東中町 山崎 忠藏	
多々連 高瀬 秀	
田中 江藤 博文	
上寺 重光 清孝	
東長淵 森部 春海	
西長淵 末益 忠行	
上の原 矢野 正義	
乙王丸 浦 康弘	
善光寺 矢野 武治	
十文字 佐々野 浩文	
三寺 田中 茂任	
中央 日野 博	
小塚 矢野 明久	
大角 鶴田 健児	
余名持 徳永 実	
立出 大熊 康利	
石成 杉岡 謙一	
松末地区	
池ノ迫 林 睦徳	
星丸正信 熊谷 克壽	
瀬ノ口 熊谷 誠一	
立 安松 和義	
真竹 井手 博文	
松末本村 田中 伸二	
石詰 井上 正彰	
赤谷 山口 富雄	

杷木地区	
穂坂 小林 三喜男	
林田 赤星 武博	
東林田 時川 寛史	
西林田 日吉 康晴	
新浜 永松 繁喜	
白木 高倉 久人	
上池田 井上 由郎	
下池田 井上 憲	
杷木上町 池田 光政	
東町 秦 文明	
中央通 溝田 浩	
西町 半田 忠睦	
大山 鬼塚 文男	
杷木団地 永田 茂光	
久喜宮地区	
古町 山田 耕二	
久喜宮上町 井上 光四郎	
久喜宮中町 佐藤 正樹	
新町 高嶋 文清	
久喜宮原鶴 田中 勉	
若市 石井 義二	
上げ 梅野 孝美	
杷木古賀 武田 忠幸	
寒水 満生 直樹	
浜川 森尾 正文	
志波地区	
志波上町 熊谷 日出海	
志波中町 徳安 敬二	
下町 江川 義文	
宮舟 日野 繁樹	
高山 小林 敏生	
志波原鶴 林 隆雄	
塚原 田中 實	
尾迫 日野 道夫	
梅ヶ谷 梶原 修	
道目木 梶原 壽則	
平榎 日野 真紀夫	
松葉 田 竜明弘	
政所 畑 浩敏	
笹尾 足立 秀夫	
杉馬場 小田 広明	